

< 留学体験記 >

海外大学研修 1

留学先：イギリス

栃 倉 彩 花

(英語圏文化専攻)

私は、夏休みを利用して三週間の海外大学研修に参加しました。これまで、海外には韓国に一度、旅行で行ったことがあるだけで英語圏の国に行ったことはありませんでした。国際英語学部に所属しているからには早く英語圏の国に行ってみたい、という自分の中で焦りもあり、友達に紹介されて今回のプログラムへの参加を決断しました。

私が、三週間生活したのはイングランド南西部グロスター州にあるチェルトナムという小さな町でした。その町にある、グロスターシャー大学に行き、語学学校のすぐ目の前にある寮で過ごしました。普段、実家で暮らす私にとって寮での生活は簡単なものではありませんでした。シャワーのお湯がなかなかでなかったり、オーブンの使い方が分からなくてみんなで相談したりなど大変な思いをしたこともありましたが、一緒に行った友達や先生方に助けられながら、スーパーへ買い物に出かけたり、洗濯機を回したりしました。このような、異国での日常生活を楽しめたのも、寮で生活ができたからこそ体験できたのだと思います。

休日には、イギリスの各地へ観光に出かけました。一番初めの週末には、友達と一緒に学校が主催する Day Trip を利用してロンド

ンへ行きました。そのとき、まるでテレビや映画でしか見たことのない世界に自分が入り込んでいるような感覚でした。日本から持参していった観光ガイドブックをフル活用しながら、毎週いろいろなところへ出かけることが出来ました。寮生活も Day Trip を活用した毎週のイギリス観光も、とても思い出に残っています。しかし、何よりも私が三週間の中で一番充実し、一番印象に残っているのは語学学校に行き、様々な国の人たちと一緒に授業を受けることができたことです。私のクラスには、韓国・サウジアラビア・ロシア・スペイン・コロンビアから来た留学生がいました。母国で学生をしている人はほとんどおらず、この学校で勉強するために仕事を辞めたり、休んだりして来た人や、母国に子供を置いて勉強しに来ている人などと一緒に、年齢や文化的違いを越えて、様々なことを話すことができるとも刺激的でした。授業では、グループごとに新しい商品を考えてみんなの前で発表するプレゼンテーションや、ディスカッションを行うなど、授業の内容は多種多様でした。周りの留学生たちの英語を学ぼうとする姿勢や積極性を感じることは、ただ感心させられるだけでなく、私自身がインスパイアされる部分がとても多かったです。それぞれが、母国語のなまりの含む英語を話していて、それでもお互いがお互いを理解し、会話しようとしている環境が私はとても好きでした。私の拙い英語もしっかり最後まで聞いてくれて、もっと話を聞かせてといってくれるクラスメイト達がとても好きでした。

この三週間の研修を通して、自分の英語力に自信がなくなり落ち込むこともありましたが、新しいことにたくさん触れて、短い期間でしたが異国の国で生活することで、自分の中で「英語を学ぶ」という意味を少しは理解できたのではないかと思います。このような機会を与えてくれた両親に感謝して、これからも様々なこと

に挑戦し英語をより上達させていきたいです。